

2026年1月30日

東京 2025 デフリンピック 大会収支の見通しについて

このたび、現時点における、東京 2025 デフリンピックの大会収支の見通しについて、一般財団法人全日本ろうあ連盟、東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団にて、取りまとめましたのでご報告します。

【全体概要】

- ・支出について、大会運営に必要なサービスレベルを確保した上で、東京大会ならではの取組として、輸送やホスピタリティの充実などを実施
- ・一方で、計画の精緻化・内製化等の効率化の努力に加え、契約差金の発生などにより、計画額 130 億円に対し 100 億円となる見込み
- ・収入について、国及び寄附・協賛、各種助成金等は計画どおりの見込み
- ・今後、引き続き精査を進め、決算として取りまとめ予定

【支出】 ※主なポイントは次ページを参照

項目	計画	収支見通し
仮設等	5 億円	2 億円 <▲ 3 >
輸送等	15 億円	20 億円 <+ 5 >
オペレーション	70 億円	55 億円 <▲15>
管理・広報	30 億円	23 億円 <▲ 7 >
予備費	10 億円	- <▲10>
計	130 億円	100 億円 <▲30>

<主なポイント>

東京大会ならではの取組として充実させた事項

- ・選手団輸送において、**待ち時間の短縮を図り**、移動に係る選手の負担を軽減するため、**競技スケジュールに合わせて、きめ細かくバスダイヤを設定**の上、必要な台数を確保して運行
- ・選手が競技に集中できる環境を整えるため、**選手団が手配する食事以外に**、競技会場及びデフリンピックスクエアにおいて、惣菜パン、エナジーバー、バナナ、カップ麺やカップスープなどの**補食を提供**
- ・選手団の滞在をサポートするため、公式の宿泊施設に**専用のサービスデスクを設置し、チェックイン・チェックアウト時の支援、無料のランドリーサービスを提供**
- ・選手団との円滑・確実なコミュニケーションのため、**各国選手団に帯同**して、情報連絡や問合せなどを**サポートする役割を担うリエゾンを配置**
- ・このほか**協賛者から**、スタッフユニフォーム、運営車両、選手団用 SIM カードなど、様々な**物品・役務の提供を受け、大会のサービスを充実**

経費の抑制を図った事項

- ・国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）との協議や関係団体等との調整により、各種計画を精緻化・内製化し、効率的な運営を実施
- ・会場ごとではなく大会全体でまとめて発注するなどの一体的な調達や、適正な契約手続きの徹底に基づく入札等による契約差金
- ・緊急対応として計上していた予備費の未執行

【収入】

項目	計画	収支見通し
東京都	100 億円	70 億円 <▲30>
国	20 億円	20 億円 <->
寄附・協賛、各種助成金等	10 億円	10 億円 <->
計	130 億円	100 億円 <▲30>

<主なポイント>

- ・国及び寄附・協賛、各種助成金等は計画どおりの見込み



本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する取組です。

戦略 9 共生社会「障害の有無に関わらず誰もが輝ける社会の実現」

戦略 16 スポーツ「スポーツでにぎわう・スポーツを支える」

▲2050 東京戦略

2050 東京戦略

～東京 もっとよくなる～

【お問い合わせ】

東京都スポーツ推進本部国際スポーツ事業部事業調整第二課

電話 03-5000-7437

メール S11809068at)section.metro.tokyo.jp

*メールアドレスの表記はスパム防止のため変更されています。(at)を@に置き換えてください。

※内容に応じて、全日本ろうあ連盟、東京都スポーツ文化事業団にお繋ぎする場合がございます。